

警察署協議会会議録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和4年11月29日 午後4時00分 から 令和4年11月29日 午後5時25分 まで	
開催場所	飯塚警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、地域第三課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長、総務課主幹、事務局
議 事 概 要		
<p>【開会】</p> <p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先日、桂川町住民センターにおいて3年振りに開催された「第10回飯塚地区犯罪被害者にやさしいまちづくり住民大会」に参加した。 ○ 大会の中で、被害者遺族の方が講演され、「事件後、周囲から心無い言葉を掛けられたり、悪気はないのに遺族にはつらい言葉であったり、また、遺族のことを思って掛けられた優しい言葉ではあるが、非常に負担に感じたこともある。」という話であった。 ○ 「犯罪被害者にやさしいまちづくり」という観点からも、被害者家族への接し方について、優しい言葉を掛けるだけが全てではないと感じた。 ○ あえて声を掛けないで見守る大切さも学べて、今回は良い機会になったので、来年、委員の皆様にも是非参加していただきたい。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日はお忙しい中、御出席いただき感謝申し上げます。 ○ 管内の治安概況について若干報告させていただくと、10月末現在の犯罪の発生状況については、前年に比べて減少している。 ○ 犯罪の中でも、窃盗が多く、窃盗の中でも万引きや乗り物盗が大きな割合を占めている。 ○ 窃盗犯罪が減少したことが、全体の発生を減らした要因であるが、最近は、自転車盗や工事現場における工具の窃盗といった犯罪が増加傾向にあり、パトロール、注意喚起、声掛けの実施及び施設管理者との連携を図り、犯罪の未然防止に努めていきたい。 ○ 飲酒運転が今年に入って増加しており、それに伴い検挙数も増加している。 ○ 緊急事態宣言も終わり、自粛していた飲酒の機会も増えたことが増加の理由と 		

議 事 概 要

考えられ、年末にかけて更なる増加が懸念されることから、啓発・取締りを実施して、交通事故防止に努めていきたい。

- 本日は、協議会の中で暴排先生に暴力団排除教室の模擬授業をしていただく。
- 飯塚警察署は暴力団対策にも力を入れているところであるが、暴力団対策と組織犯罪対策は「人・物・金」の3本柱での対策が重要となる。
- 人については、人的基盤を弱めることで、検挙、暴力団に加入させない、暴力団から離脱させるなどの対策であり、物については、薬物銃器犯罪の取締り、金については、みかじめ料や恐喝、大型工事への介入といった暴力団の資金源に対する取締りや、口座開設の拒否や凍結により資金の収奪といった措置である。
- 本日の暴排先生の講義は人に対する対策であり、暴力団に加入させないために、中高生を対象に暴力団というものはどういうものかを理解してもらうためにやっている。
- この内容を中学生、高校生が聞いていることを念頭に置いていただければと思う。

【報告事項等】

警察署からの報告事項

- (1) 暴力団排除教室（福岡県警察本部組織犯罪対策課）
- (2) 直轄隊活動報告（飯塚警察署直轄隊）

【質疑応答】

- 委員から、「都市部の雑踏警備で目にするD Jポリスの役割等はどのようなになっているのか。」旨の質疑があり、直轄隊係長から「雑踏警備の任務を付与された場合には、事故防止のためD Jポリスとして広報活動を行う場合もある。」旨の回答があった。
- 委員から、「デモ自体は違法ではないと思うが、違法なデモとの境界線は何か。」旨の質疑があり、直轄隊係長から「デモ行進は、道路使用許可を得た上で、決まったルートを整然と行進するものであり、許可された以外の態様で行われたり、危険な状況が生じた、あるいはその恐れがある場合には、警告・規制を行うこととなる。」旨の回答があった。

【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望】

- 意見要望については、なされなかった。

【開会】